



## 聖路加看護学会30周年事業 企画

### 周年事業委員会 委員長 亀井智子

いよいよ来年、学会設立30周年を迎えます。これを記念する下記の活動を行っています。

まず、昨年の第28回学術大会では、これまで当学会が発信してきたことについて委員が振り返り、学会の魅力やこれまで果たしてきた役割を座談会形式でお伝えしました。

今年度は、30周年を記念するロゴマークを作成しました(右上)。

このロゴを活かして、記念品(クリアファイル)を作成し(右下)、第29回学術大会で大会参加者に配布しました。

このファイルの中には、現在行っている、当学会にまつわる「思い出の写真」募集と、学会への「一言メッセージ」のご案内をお届けしました。



30周年記念ロゴ



ロゴ入りクリアファイル

### お知らせ—聖路加看護学会思い出の写真と一言メッセージの募集—

これまでの当学会の大会、セミナーなど催しものに関連する写真、そして学会への一言メッセージを広く募集しています。会員の皆様が大会の際に撮影した写真を是非お貸してください。それらを集めた写真集やパネル作成を検討しています。

※被写体の使用許可を得たものをご提出ください。

よろしくお願いいたします。 **提出期限: 2025年3月31日**



【写真提出先 QR コード】



【メッセージ 提出先】



① 写真: <https://www.dropbox.com/request/FniSsotoDsiiOuiaQbV8>

② メッセージ: <https://yosetti.com/mainyosegakis/invite?id=2764794&sc=BU8TH>

メンバー: 大田えりか、奥裕美、片岡弥恵子、佐居由美、高橋恵子、田代順子、三浦友理子

## 第29回聖路加看護学会学術大会を終えて



### 学術大会長 野崎真奈美(順天堂大学)



第29回聖路加看護学会学術大会を、「看護のダイバーシティを拓くー守る価値観と変える価値観ー」のテーマで2024年9月28日(土)に聖路加国際大学アリス・c・セントジョン・メモリアルホールをメイン会場として5年ぶりに現地開催しました。

登録者数は190人を超え、盛会となりました。大規模な学会とは異なる会の特徴を生かして、テーマについて全員で検討できるようにプログラムを構成しました。

大会長講演では「看護における多様な働き方と学び方」について、看護が置かれている現状を踏まえて問題提起しました。

菱沼典子氏による特別講演では、「変わらない看護の価値」と題して、ナイチンゲールを引用しつつ看護の本質を確認しました。看護と看護もどきの違い、看護のアイデンティティを持ち続けることの重要性についてお話いただきました。シンポジウムAでは、多様な場で活躍する看護職として、国際山岳看護師、美整容ケアセラピスト、Zoomで繋ぎ米国のナースプラクティショナーからも、日頃の実践についてお話いただきました。



シンポジウムBでは、VUCA時代の看護教育として何をどのように伝えていくかについて、変わらず大切にしていけるべき教育内容、コンピテンシーベースの教育の重要性、そしてテクノロジーを使って学び方を変えていく必要性が述べられました。各セッションでは意見交換が活発になされ、皆様の熱量を感じ対面開催の意義を実感しました。

学会企画として、「DNPコース修了生、その後の“変革者”としての活動」について、実践活動が紹介されました。その他、ランチタイム・ミニ講座3題、一般演題29題(卒業研究演題7題含む)の研究発表がありました。このうち優秀な演題について、優秀賞1件、若葉賞1件の表彰を行いました。若い世代が続いてくれることを大変心強く感じました。参加者から、社会が変化する中で、改めて看護を考える機会になった、最初から最後までテーマに沿って堪能した、聖路加らしい時間だったと評価していただきました。ご参加いただきました皆様、ご支援・ご協力を賜りました関係各所の皆様に、心より御礼申し上げます。

## 第 30 回聖路加看護学会学術大会のご案内

大会長 片岡弥恵子(聖路加国際大学)

第 30 回聖路加看護学会学術大会の大会長を務めることとなりました。第 30 回という記念すべき学術大会の企画・運営に携わることができ、大変光栄に存じます。

さて、第 30 回学術大会のテーマは、「高度実践看護の未来を拓く-DNP の実装と普及-」といたしました。聖路加看護学会は、設立から現在に至るまで、一貫して看護実践の質の向上を中心的な課題に位置づけ、活動して参りました。特に、高度実践看護に関して、研修会等の教育活動や臨床研究を推進しております。

そこで、さらなる高度実践看護の発展に向けて、第 30 回学術大会では DNP (Doctor of Nursing Practice) に焦点をあてて、参加者の皆様と共に高度実践看護の将来を考えてみたいと思いました。DNP は、実践家のための博士課程です。米国では、PhD に並び実践にフォーカスした博士の学位として DNP があります。American Association of College of Nursing (AACN)は、「DNP プログラムは、患者アウトカムを改善し、研究を実践に適用するために、看護実践において最も高いレベルの看護師のリーダーを育成する」と示しています。米国では、2005 年に 13 大学であった DNP プログラムは 2022 年には 384 大学へと増加し、著しい発展を遂げています。DNP は、聖路加看護学会が一貫して目指してきた高度実践看護推進の将来に向けての一つの強力な戦略と考えられます。講演やシンポジウムを通して、日本での DNP の可能性について、ディスカッションを深めていけるようなプログラムを検討しております。さらに、第 30 回学術大会では、聖路加看護学会創立 30 周年記念行事を開催いたします。周年行事委員会の皆様がシンポジウムや懇親会の企画を検討してくださっています。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。



### ●開催概要●

会期:2025 年 9 月 27 日(土)

会場:聖路加国際大学

(東京都中央区明石町 10-1)

テーマ:高度実践看護の未来を拓く

演題及び参加登録開始:

2025 年 4 月 7 日(月)予定



## ■高度実践看護開発検討委員会からのお知らせ

高度実践看護開発検討委員会主催の研修会を以下の日程で開催をいたします。  
会員の皆様方にはメールにてご案内をしておりますが、詳細はホームページにポスターを掲載しています。

### ●テーマ「高度実践看護師の協働の可能性を探る」

1.日時:2024年12月1日(日) 13時00分~15時15分

質疑応答含む

2.開催方法:リアルタイム・オンライン(会員無料・非会員2000円)

3.講師:長岡 孝典 氏

(国立病院機構呉医療センター 急性・重症患者看護専門看護師)

「急性・重症患者看護専門看護師に求められるスペシャリストとしてのケア実践を考える」

:森 一直 氏 (愛知医科大学病院 NP部 師長)

「診療看護師(NP)としての組織における役割開発~専門看護師との共同からみる役割比較~」

(担当:柳橋礼子、青木悠、小林成光、小松崎朗子、山本加奈子、吉田智美、渡辺かづみ)

## ■庶務からのお知らせ

2024年度より新メンバーの体制となりました。学術集会、理事会、またそれぞれの委員会の活動などがスムーズに進むよう皆様をサポートさせていただければと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度の学会費のお願いです。納入がまだの方がいらしたらご対応くださいますようお願い申し上げます。また、勤務先、所属、住所の変更がございましたらホームページの変更届フォームで変更可能です。学会事務局までご連絡いただけましたらと思います。

また入会を随時受け付けております。当学会に関心をお持ちの方がお近くにいらしたら、ぜひホームページにある案内をお知らせいただけますと幸いです。

<https://slnr.or.jp/change/>

または



(担当:五十嵐ゆかり、青木裕見、沖村愛子)

## ■編集委員会からのお知らせ

やっと秋めいた季節となりました。2024年度から聖路加看護学会編集委員は、新メンバー6名を加え、11名体制で始動することになりました。引き続きのメンバーも多いので、編集委員長としては大変心強く思っております。

第28巻(2024)では、現在までに原著3編がweb公開されており、現在、査読中の論文と第29回聖路加看護学会学術大会の講演等の原稿の公開に向け準備中です。

編集委員会では引き続き、投稿論文をさらに増やすために未発表論文の投稿申し入れ、査読の迅速化を図っていきます。そして投稿された論文の採択に向けサポート的な査読についても検討を続ける予定です。聖路加看護学会は、研究領域を限らない幅広い論文を発表できる場としていること、近年、他の学問分野の研究者との共同研究も進んでいることもあり、本年度より、共著者に非学会員を含む論文投稿を受け付けることも決まっております(詳細につきましては今後ホームページでお知らせします)。

投稿はオンラインで随時受け付けております。会員の皆様の日々の実践、研究成果の知を本学会の目的である看護実践の向上と看護学の発展に向け、聖路加看護学会誌への投稿をぜひお願いします。委員一同お待ちしております!

(担当:高橋奈津子(委員長)、加藤木真史(副委員長)、大坂和可子、川端愛、高山千春、三浦友理子、沢口恵、飯田真理子、榎戸文子、蜂ヶ崎令子、山岡栄里)

## ■会計からのお知らせ

会員の皆様には年会費納入にご協力いただき、誠にありがとうございます。2024年10月30日現在、年会費未納の方は147名(28%)です。早急に納入くださいますよう、宜しく申し上げます。

なお、今年度より新メンバーで会計を担当致します。担当者より、ひと言ずつご挨拶申し上げます。

・本学会の理事も会計も初めてのため、不慣れな点が多々あるかと思いますが、心強い仲間とともに学会活動をサポートするべく会計業務を遂行したいと思っております。

皆様どうぞご支援のほど(年会費納入のほど)、よろしく願いいたします。(林)

・委員会や学術集会等が円滑に営まれるよう、会計管理に努めてまいりたいと思っております!

(亀田)

・今年度から会計として活動することになりました。今まで知らなかった色々なことを学ぶ機会にもなっています。これからどうぞよろしくお願い申し上げます!(木村)

振り込み先:郵便振替口座

口座番号:00100-8-670371

加入者名:一般社団法人聖路加看護学会

(担当:林直子、亀田典宏、木村理加)

## ■学術交流委員会からのお知らせ

この度、新委員長を拝命しました梅田恵です。

新委員メンバー8人で、看護実践科学助成事業（以下、研究助成）と学術交流事業に取り組んでまいります。事業については、対面での開催での交流がよりよいかと考えましたが、オンラインでの開催に皆様も慣れてきたことや、オンラインのほうがより広く、多くの方の参加が可能となります。当会の交流事業は、しばらく、オンラインで開催していきたいと思っております。

### ✿研究助成

2024年12月1日（日）～2025年1月31日（金）に募集開始します。助成の申請について早々にご準備いただければ幸いです。助成金額が総額40万円です。3月末までに選考結果をお知らせします。詳細は学会ホームページをご覧ください。多数の皆様の応募をお待ちしております。

### ✿学術交流集会

2025年3月頃に、オンラインで多死超高齢社会を背景に、地域包括ケアで看護職や看護を学び経験した者が、いかに活躍できるのかを考える機会をもちたいと計画を進めております。地域包括ケアの基本から学べる企画としていきたいと思っております。早々にお知らせさせていただきます。参加費は、会員は無料（非会員2,000円）です。

（担当：梅田恵、宇都宮明美、鈴木美穂、佐藤直子、中山祐紀子、松本文奈、山本真実、監物佳子）

## ■広報委員会からのお知らせ

新たなメンバーで広報委員会を運営することとなりました。より魅力的な情報掲載を目指してニュースレターを刊行していきます。また、聖路加看護学会のホームページも随時リニューアルして活用しやすく見やすいものになるよう工夫していきたいと思っております。ぜひご覧ください。（委員長 飯岡）

◎初めて委員会活動に参加となり、活動に貢献できることを嬉しく思います。不慣れな点もありますが、よろしく願いいたします。（廣田）

◎新しく広報委員となりました。多くの聖路加看護学会の会員の方に活動を知っていただけるよう、そして、新たな会員の入会につながるよう、広報活動に努めてまいります。よろしく願いいたします。（増澤）



◎引き続きよろしくお願い申し上げます！（海老原）

◎広報活動を通じて、本学会の魅力を伝えて参りたいと思っております。不慣れではありますが、よろしくお願い申し上げます。（池口）

◎引き続き委員として担当させていただくことになりましたので、新たな委員の先生方と楽しく広報活動ができるようがんばります！（賀数）

（担当：飯岡由紀子 廣田千穂 増澤祐子 海老原樹恵 池口佳子 賀数勝太）

## 社員総会のご報告

2024 年度会員総会は、第 29 回聖路加看護学会学術大会期間中の 2024 年 9 月 28 日(土)11:00~11:30 にて開催されました。聖路加国際大学本館 アリスホール ZOOM によるオンライン会議を併用したハイブリッド開催となりました。参加会員数は約 40 名でした。

片岡理事長より開会の挨拶があり、会員総会議長として第 29 回聖路加看護学会学術大会長野崎真奈美氏が紹介されました。2023 年度の理事会および定時評議員会報告、庶務報告、会計活動報告、監査報告がありました。また、2023 年度委員会活動報告として、学会誌編集委員会、広報委員会、学術交流委員会、高度実践看護開発検討委員会、選挙管理委員会の報告がありました。さらに、2024 年度事業経過報告、聖路加看護学会創立 30 周年を迎えるイベントとしての周年事業の報告がありました。

そして、第 30 回聖路加看護学会学術大会会長片岡弥恵子氏より概要の説明がありました。テーマは「高度実践看護の未来を拓く-DNP の実装と普及-」であり、聖路加国際大学での現地開催となり、同日に学会設立 30 周年記念行事を開催予定であることが説明されました。最後に、片岡理事長より新たな名誉会長として佐藤エキ子氏が紹介されました。

本年度の社員総会はハイブリッド開催となりましたが、通信トラブルもなく閉会となりました。次年度の社員総会は、学術大会や 30 周年記念行事の会期中ですので多くの方にご参加いただける機会になると思われます。

(広報委員会 飯岡由紀子)

### [編集後記]

今号では、多くの学会行事に関するお知らせをお届けすることができました。新しい委員会体制となり、各委員会メンバーの方々からの意気込みもお伝え出来ました。

特に本年は、本学会設立 30 周年を迎えるにあたり、学会のイメージカラーである青と白の素敵なロゴマークも掲載できました。本ニュースレターでは、今後も30周年記念に関するお知らせやイベントをお伝えしてまいります。どうぞご期待ください!

(海老原樹恵 飯岡由紀子 廣田千穂 増澤祐子 池口佳子 賀数勝太)

ニュースレター発行や様々な情報をメーリングリストでお伝えします。  
メールアドレスが変更された場合は、  
変更届フォームにて、<https://slnr.or.jp/change/>  
学会事務局までご連絡ください

一般社団法人 聖路加看護学会ニュースレター No.66・67

- ▶ 発行：2024 年 11 月 30 日
- ▶ 編集：広報委員会  
(飯岡由紀子 賀数勝太 増澤祐子 廣田千穂 池口佳子 海老原樹恵)
- ▶ 連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学内



変更届フォーム

[学会ホームページ] <https://slnr.or.jp/>